

## 令和7年度高知県漁業就業者確保委託事業仕様書

### 第1 事業の主旨

本事業は、漁業者の減少や高齢化が進む中、若者・女性を中心とした新規漁業就業者を確保するため、関西の専門学校等での漁業就業セミナーの開催や関西及び県内での就業フェアの開催等に取り組むことで、漁業就業希望者の増加に繋げることを目的とする。

### 第2 事業概要

本委託業務では、以下の漁業就業セミナー等の取り組みを行うものとし、詳細については第3に記載する。

#### 事業の全体像

##### 1 漁業就業セミナー

- └ (1) 関西の専門学校等での漁業就業セミナーの開催
- └ (2) 児童養護施設入所者を対象とした漁業就業セミナーの開催

##### 2 漁業就業フェアとその関連業務

- └ (1) 関西での漁業就業フェアの開催
- └ (2) 県内での一次産業就業フェア出展に係る業務
- └ (3) 関西での一次産業就業フェア出展に係る業務
- └ (4) 県内事業者の SNS 情報発信スキルアップ研修の開催
- └ (5) WEB ページの制作・発信

##### 3 デジタルマーケティング

- └ (1) センターWEB サイト
- └ (2) WEB サイト以外の情報発信

##### 4 水族館と連携したイベントの開催

### 第3 事業内容

#### 1 漁業就業セミナー

漁業就業の可能性のある者に対し、高知県の漁業に対する興味を喚起するためのセミナーを以下の（１）及び（２）のとおり行う。

##### （１） 関西の専門学校等での漁業就業セミナーの開催

関西の専門学校等での漁業就業セミナーを以下のとおり開催すること。

##### ア 対象校の選定

- （ア）動植物関連や釣り等、漁業就業希望者の増加に効果的と思われる関西の専門学校や大学等を対象に開催すること。
- （イ）対象校については、一般社団法人高知県漁業就業支援センター（以下「センター」という。）と協議のうえ選定すること。
- （ウ）受託者は、対象校に対してセミナーを開催する主旨を説明し、対象校の了解を得ること。
- （エ）受託者は、原則として、セミナーの開催に係る対象校との調整及びセミナーの運営を行うこと。

##### 【参考】令和6年度セミナー実施校

No.	学校名	場所	回数
1	大阪動植物海洋専門学校	大阪	1
2	近畿大学農学部水産学科	奈良	1
3	総合学園ヒューマンアカデミーフィッシングカレッジ	大阪	1
4	大阪 ECO 動物海洋専門学校	大阪	2
5	神戸動植物環境専門学校	兵庫	1
6	吉備国際大学農学部海洋水産生物学科	兵庫	1

##### イ 実施時期・回数

本仕様書第3の2の（１）及び（３）への誘導を考慮した時期に6校でそれぞれ1回以上開催することとし、開催日時についてはセンターと協議のうえ決定すること。

##### ウ セミナーの内容

- （ア）セミナー受講者は、対象校に確認のうえ、就職活動を実施中又はこれから就職を検討する学生を対象とすること。
- （イ）セミナーの内容は、対象校の意向を確認しセンターとの協議のうえ決定すること。
- （ウ）センターと協議のうえ、漁業現場について説明する者を漁業経営体等から選定すること。
- （エ）選定した漁業経営体等に対しては、自宅から会場までの往復にかかる旅費（宿泊費含む）を支払うこと。

なお、1経営体1回あたりの旅費は、最大1名分とすること。

(オ) セミナー終了後、参加者に対してアンケートを実施すること。また、結果をとりまとめ一覧表に整理するとともに、内容を分析したものをセミナー実施から 10 日以内にセンターに提出すること。

エ その他

本仕様書第 3 の 2 の (1) 及び (3) の開催に係る情報をセミナー出席者に周知すること。

## (2) 児童養護施設入所者を対象とした漁業就業セミナーの開催

センターが指定する大阪市内の児童養護施設の入所者を対象とした漁業就業セミナーを以下のとおり開催すること。

ア 本仕様書第 3 の 2 の (1) への誘導を考慮した時期に 1 回以上開催することとし、開催日時については、センターと協議のうえで決定すること。

イ 対象施設との日程調整は、受託者が行うこと。

ウ 内容は、本仕様書第 3 の 1 の (1) のとおりとし、「対象校」を「対象施設」に、「学生」を「入所者」に読み替える。

## 2 漁業就業フェアとその関連業務

雇用型漁業の経営体と就業希望者とのマッチングや自営漁業に関心がある者の相談・情報収集等の場を設けるフェアについて、以下の (1) から (5) の業務を行う。

### (1) 関西での漁業就業フェアの開催

関西で漁業就業フェアを以下のとおり開催すること。

ア 実施時期・回数

令和 7 年 9 月に 1 回 (1 日) 開催することとし、開催日時についてはセンターと協議のうえ決定すること。

イ 開催会場

(ア) 開催地は大阪市内とし、梅田駅等の大規模な駅の周辺にあり、集客に効果的かつ利便性の高い場所とすること。

(イ) 各ブース等を配置したうえで 100 名程度収容できる会場とすること。

(ウ) レイアウトは、受託者の提案をもとにセンターと協議のうえ決定すること。

(エ) 会場内は、高知県らしさとともに、若者・女性の来場を意識した装飾等の工夫を行うこと。

(オ) スタッフの服装は、来場者が一目でスタッフであると認識できるものにする。

(カ) 来場者がアンケート等の記入や休憩が可能なスペースを設けること。

(キ) センターと相談のうえ、感染症対策を検討すること。

(ク) センターが展示の必要があると認める物品等がある場合は、優先的に展示スペースを確保すること。

(ケ) 漁業就業支援制度や経営体のパンフレットを展示紹介する高知県漁業情報コーナーを設置すること。

(コ) 県内の漁業を紹介する VR 動画の視聴について、以下のとおり実施すること。

- a センターが所有する7漁業種類（かつおの一本釣りや養殖業など）のVR動画をそれぞれ視聴できるようなブースを設置すること。
  - b 視聴ブースには、VRゴーグルを3セット用意するとともに、センター所有のVRゴーグルもあわせて活用すること。
  - c 視聴方法を説明する担当スタッフを配置すること。
- (サ) 来場者に対して県内漁業をPRするためのモニターを用意することとし、モニターで放映する内容についてはセンターと協議のうえ決定すること。
- (シ) 相談待ちの来場者にはスタッフが声掛けし、出展事業者の概要を説明したうえで、相談を希望する漁業種類のブースへ誘導すること。

#### ウ 出展事業者

- (ア) 出展事業者の募集は、受託者が行うこと。県内の雇用型漁業（定置網漁業や養殖業等）の漁業経営体に対して出展の希望の有無を確認し、一覧表に整理してセンターに報告すること。
- (イ) 募集にあたっては、次に掲げる条件を明示すること。
- a フェアへの出展を希望する事業者数等を考慮し、出展を制限することがあること。
  - b 本仕様書第3の2の(4)の研修の受講及びSNSやホームページ等により自らをPRする情報発信を行うことが出展条件であること。
- (ウ) 出展する漁業経営体を20者以上集めることとし、出展に向けて漁業経営体との連絡・調整を行うこと。
- (エ) 出展事業者の選定は、センターが行うこととする。
- (オ) 出展事業者の紹介冊子（求人情報まで掲載したA4・12P程度のカラー）を200部程度作成し、フェア来場者に配布すること。

#### エ 就業相談

出展事業者による就業相談を以下のとおり実施すること。

- (ア) 会場内には出展事業者が来場者の就業相談等に応じるための個別ブースを設置することとし、出展事業者分とは別に、センター及び関係機関が使用するためのブース（3ブース）と女性専用相談ブース（1ブース）を計4ブース設置すること。
- なお、女性専用相談ブースには、相談対応者として女性漁業者1名を配置し、謝金（2万円）及び自宅から会場までの往復にかかる旅費（宿泊費含む）並びにフェア当日の前後に移動日が必要となる場合は、日当として1万円/日を支払うこと。また、女性漁業者の選定は、センターと相談のうえ行うこと。
- (イ) 来場者が、本県で漁業に就業した先輩漁業者と会話ができるコーナーを設置し、WEB、チラシで告知すること。
- なお、フェアで対応する先輩漁業者は、県東部及び西部の自営漁業者からそれぞれ1名ずつ選定し、謝金（2万円）及び自宅から会場までの往復にかかる旅費（宿泊費含む）並びにフェア当日の前後に移動日が必要となる場合は、日当として1万円/日を支払うこと。また、先輩漁業者の選定は、センターと相談のうえ行うこと。
- (ウ) 来場者が自己のプロフィールや就業相談の内容等を記載するための様式（コミュニケー

ションシート) について、以下の要領で運用できる効率的な体制を確保すること。

a コミュニケーションシートの様式は、センターが指定し、受付番号を付すこととする。

b 受託者は、来場者の入場時にコミュニケーションシートを手渡し、必要事項を記入してもらったうえで原本を複数枚数コピーし、当該来場者に手渡すこととし、原本は保管すること。

(エ) 受託者は、出展事業者に対し、来場者が訪れたブースを把握できるような様式を配布し、その取扱いについて事前に説明すること。

(オ) (ウ) と (エ) に係わらず、受託者が効率的な方法を提案し、センターが認めた場合は、受託者の提案を採用することとする。

#### オ 集客

本県漁業の就業に関心をもった来場者 70 名以上の確保に努めること。

なお、来場者とは、コミュニケーションシートに記入し、受付まで提出した者をいう。

#### カ 広報 (マス広告)

関西圏を主要エリアとした広報を展開し、漁業就業の可能性がある若者・女性の興味を引きつける内容でフェア開催を効果的に周知すること。

(ア) フェア開催前の 1 か月間、Osaka Metro に加え JR 環状線及びゆめ咲線の全路線及び全車両のまど上に、フェアへの誘導を効果的に行うことができるポスター広告を掲載すること。

(イ) 駅構内のデジタルサイネージを 100 面以上活用し、インパクトのある広報を 2 週間以上実施すること。実施にあたっては、最も効果的と考えられるエリアを選定すること。

(ウ) A4 両面カラーチラシを必要部数制作し、高知県大阪事務所、関西の水産高校、専門学校、大学、釣具店、サーフショップ等の集客に効果が見込まれる機関・店舗等に送付すること。

なお、チラシには、スムーズな来場を促すための工夫を施すこと。

(エ) その他、漁業就業の可能性がある若者・女性の興味を引きつける内容で 70 名以上を集客するために必要な広報を行うこと。

(オ) 広報内容については、センターと協議して決定すること。

#### キ アンケート

(ア) 出展事業者に対し、フェアへの意見等を把握するためのアンケート調査を実施すること。

(イ) 来場者に対し、フェアへの意見等を把握するアンケート調査を以下の要領で実施すること。

a アンケート用紙には、コミュニケーションシートの受付番号と同じ番号を付すなどして、記入者を突合できるようにすること。

b アンケートは全員から回収するための工夫を行い、回収時には記載漏れの有無を確認するように努めること。また、記載漏れがあった場合は、当該来場者に記載を促すこと。

(ウ) (ア) 及び (イ) のアンケート調査の内容は、センターと協議のうえ決定することとし、

結果をとりまとめて一覧表に整理するとともに、グラフや表等を用いて内容を分析したものをフェア終了から10日以内にセンターに提出すること。また、(イ)の結果は出展事業者にもフィードバックすること。

## (2) 県内での一次産業就業フェア出展に係る業務

### ア フェアの実施時期・回数

令和7年10月に1回(1日)開催。

### イ 開催会場

開催会場は、イオンモール高知2階のイオンホール及び1階のセントラルホール。

会場費及び基本的な設営費は、主催者である一般社団法人高知県農業会議が負担する。受託者は、センターの指示の下、関係者と連携し、漁業分野の設営に協力すること。

(ア) イオンホールにおけるレイアウトは、センターをはじめとする関係者と協議のうえ決定することとし、漁業分野に割り当てられたエリアにおいては、フェア全体の統一イメージとの調和を保ちつつ、漁業らしさとともに、若者・女性の来場を意識した装飾等の工夫を行うこと。

(イ) セントラルホールでは、以下のとおり本県漁業のPRを実施すること。

- a 漁業就業支援制度や経営体のパンフレットを展示紹介する漁業情報コーナーを設置すること。
- b センターが所有する7漁業種類(かつおの一本釣りや養殖業など)のVR動画を視聴できるブースを設置すること。また、視聴ブースには、VRゴーグルを2セット用意するとともに、センター所有のVRゴーグルもあわせて活用することし、視聴方法を説明する担当スタッフを配置すること。
- c 来場者に対して県内漁業をPRするためのモニターを用意することとし、モニターで放映する内容についてはセンターと協議のうえ決定すること。
- d 漁業就業の可能性がある若者・女性の興味を引きつける装飾等の工夫を行うこと。
- e 来場者にはスタッフが声掛けし、一次産業就業フェアの概要を説明したうえで、2階イオンホールへ誘導すること。

(ウ) スタッフの服装は、主催者と調整のうえ、全体の統一イメージとの調和を保ちつつ、来場者が一目でスタッフであると認識できるものにする。

### ウ 出展事業者

(ア) 漁業分野における出展事業者の募集は、受託者が行うこと。県内の雇用型漁業(定置網漁業や養殖業等)の漁業経営体に対して出展の希望の有無を確認し、一覧表に整理してセンターに報告すること。

(イ) 募集にあたっては、次に掲げる条件を明示すること。

- a フェアへの出展を希望する事業者数等を考慮し、出展を制限することがあること及び1ブースに2者が出展する可能性があること。
- b 本仕様書第3の2の(4)の研修の受講及びSNSやホームページ等により自らをPRする情報発信を行うことが出展条件であること。

(ウ) 出展事業者の選定は、センターが行うこととする。

(エ) 出展する漁業経営体を 10 者程度集めることとし、出展に向けて漁業経営体との連絡・調整を行うこと。

なお、出展事業者数は変更もあり得る。

(オ) フェアに出展する漁業経営体の紹介冊子（求人情報まで掲載）をカラーで作成し、来場者に配布すること。

## エ 就業相談

出展事業者による就業相談を以下のとおり実施すること。

(ア) 会場内には出展事業者が来場者の就業相談等に応じるための個別ブースを設置することとし、出展事業者分とは別に、センターが使用するためのブースと女性専用相談ブースの計 2 ブースを設置すること。

なお、女性専用相談ブースには、相談対応者として女性漁業者 1 名を配置し、謝金（2 万円）及び自宅から会場までの往復にかかる旅費（宿泊費含む）並びにフェア当日の前後に移動日が必要となる場合は、日当として 1 万円/日を支払うこと。

(イ) 来場者が、本県で漁業に就業した先輩漁師と会話ができるコーナーを設置することとし、当該先輩漁師に対しては、謝金（2 万円）及び自宅から会場までの往復にかかる旅費（宿泊費含む）並びにフェア当日の前後に移動日が必要となる場合は、日当として 1 万円/日を支払うこと。また、先輩漁師の選定は、センターと相談のうえ行うこと。

(ウ) 来場者の誘導等に必要な体制を確保すること。

(エ) 受託者は、出展事業者に対し来場者が訪れたブースを把握できるような様式を配布し、その取扱について事前に説明すること。

## オ 広報（マス広告）

高知県内を対象エリアとし、統一的な広報及び漁業に特化した広報をそれぞれ主催者及び受託者が実施する。

漁業に特化した広報は、統一的な広報との相乗効果が期待できるような方法で行うこととし、全体のイメージと調和しつつ、漁業就業の可能性がある若者・女性の興味を引きつける内容でフェア開催を効果的に周知すること。

なお、統一的な広報媒体として想定されるのは、チラシ、ポスター、WEB 広告、テレビ CM、帯屋町ビジョン、ラジオ CM 等であるが、変更もあり得る。受託者は、必要に応じて関係者と情報共有し、広報素材を提供する等、連携できる体制を整えつつ、以下の（ア）から（オ）のとおりに、広報（マス広告）を実施すること。

(ア) 高知県内で購読者数の多い新聞媒体において、フェアの効果的な広報を行うこと。

(イ) A4 両面カラーチラシを必要部数制作し、県内の高校、専門学校、大学、漁協、釣具店、サーフショップ等の集客に効果が見込まれる機関・店舗等に送付すること。

(ウ) センター会員の市町村と連携し、フェアの開催情報が広報紙へ掲載されるよう努めること。

(エ) その他、漁業就業の可能性がある若者・女性の興味を引きつける内容で効果的な広報を行うこと。

(オ) 広報内容は、センターと協議して決定すること。

#### カ アンケート

出展事業者に対し、フェアへの意見等を把握するためのアンケート調査を実施すること。

アンケート調査の内容は、センターが指定するものとし、その結果については、とりまとめ一覧表に整理するとともに、グラフや表等を用いて内容を分析したものをフェア終了から 10 日以内にセンターに提出すること。

#### キ その他

このフェアに関して、センターが提供する来場者等データの集計・分析を行うこと。

### (3) 関西での一次産業就業フェア出展に係る業務

#### ア フェアの実施時期・回数

令和 7 年 10 月（予定）に 1 回（1 日）開催。

#### イ 開催会場

開催地は大阪市内を予定しており、会場費及び設営費は、主催者である一般社団法人高知県 UI ターンサポートセンターが負担する。

#### ウ 出展事業者

受託者はセンターの指示の下、関係者と連携して（ア）から（エ）の業務を行うこと。

（ア）出展事業者の募集及び連絡調整を行うこと。

（イ）県内の雇用型漁業（定置網漁業や養殖業等）の漁業経営体に対して出展の希望の有無を確認し、一覧表に整理してセンターに報告すること。

なお、受託者が集める出展事業者数は、10～15 者を想定しているが、変更もあり得る。

（ウ）出展事業者の選定は、センターが行うこととする。

（エ）募集にあたっては、次に掲げる条件を明示すること。

a フェアへの出展を希望する事業者数等を考慮し、出展を制限することがあること。

b 本仕様書第 3 の 2 の（4）の研修の受講及び SNS やホームページ等により自らを PR する情報発信を行うことが出展条件であること。

#### エ 広報

主な広報は主催者が実施することとしているため、必要に応じて関係者と情報共有し、広報素材を提供する等、連携できる体制を整えること。

### (4) 県内事業者の SNS 情報発信スキルアップ研修の開催

漁業経営体自身が SNS 等の WEB 媒体を運用し、日常の操業や水揚げの様子、求人状況等の情報を発信することで、漁業就業の希望者に具体的なイメージを持って就業を検討してもらうとともに、県内事業者へコンタクトをとるための手段として活用され、就業者の確保につながるようにするため、以下のとおり研修会を開催すること。

#### ア 開催の実施時期・回数

（ア）令和 7 年 7 月末までに研修会を 1 回開催すること。

（イ）開催時間や実施内容については、センターと協議のうえ決定すること。



#### イ 開催会場等

- (ア) 会場は高知市内とし、余裕をもって参加者全員を収容できる会場とすること。
- (イ) 必要に応じて事業者がオンラインで参加できる体制を整えること。
- (ウ) 開催当日に参加できない事業者のために、アーカイブ配信で受講できる体制を整えること。

なお、アーカイブ配信用の動画は、受講者が理解しやすい内容・構成とし、研修会とは別に撮影・編集すること。

#### ウ 研修内容

- (ア) SNS 等を活用していない事業者を対象に、SNS 等の開設方法を解説すること。
- (イ) すでに SNS 等を運用している事業者に対しては、就業希望者に閲覧されやすい投稿内容や投稿頻度等について解説すること。
- (ウ) 事業者が理解しやすい簡易な表現で説明するとともに、研修後に実行しやすいように情報発信に関するマニュアル等を作成・配布するなど工夫を行うこと。

#### エ 講師の選定

センターと協議のうえ、SNS 開設や目的達成に効果的な構成に知見を有し、参加事業者のスキル向上に資する講義を行うことができる講師を 1 名以上選定すること。

#### オ 参加事業者の募集

- (ア) センターと協議のうえ、漁業経営体等に対し、研修会への参加募集を行うこと。
- (イ) 本仕様書第 3 の 2 の (1)、(2) 及び (3) の出展事業者が、出展までに本研修を受講していること及び SNS・WEB ページ等により自らを P R する情報発信を行っていることを確認すること。

#### カ その他

- (ア) 受託者は、研修会の開催に向けて、事前に講師と実施内容を調整すること。
- (イ) 研修会に参加した経営体に対しアンケート調査を実施し、研修会の評価や要望等の意見を収集すること。また、結果をとりまとめて一覧表に整理するとともに内容を分析したものを、研修終了から 10 日以内にセンターに提出すること。

なお、アーカイブ配信での受講者に対するアンケートは、受講直後に実施することとし、その結果をすみやかにセンターに提出すること。

- (ウ) 本仕様書第 3 の 2 の (1) のフェアに対応した出展に関するマニュアルを事前に作成し、同フェア出展事業者に対し、本研修実施時に内容を分かりやすく説明すること。

### (5) WEB ページの制作・発信

本仕様書第 3 の 2 の (1) 及び (2) への集客、特に漁業就業の可能性のある若者・女性の興味を引きつけるフェア特設 WEB ページを以下のとおり制作すること。

ア フェアの開催内容や本県漁業の魅力等を掲載した訴求力のある WEB ページを本仕様書第 3 の 2 の (1) の 1 か月前までに制作し、情報発信を行うこと。

イ ドメインは、センター WEB サイトドメインのサブドメインとすること。

ウ サイトへの訪問者がチャット形式で相談可能な機能を備えること。

エ 問合せが想定される内容については、Q&A ページを設ける等の工夫を行い、サイトへの訪問者が情報収集しやすいようにすること。

オ 過去にセンターが開催した漁業就業フェアの実績や写真等でイベントの様子が分かるようなページを設けること。

カ 月ごとの閲覧者数等について、原則翌月 5 日までにセンターに報告すること。

キ WEB ページの閲覧数が低調である場合は、閲覧数を増やすための工夫を施すこと。  
なお、その内容については、センターと随時協議すること。

ク 本 WEB サイトは、契約期間である令和 8 年 3 月 15 日まで閲覧可能な状態にすること。

ケ WEB ページにおける出展者情報に関する構成は、「トップページ（フェア毎）」→「出展事業者一覧」→「各出展事業者の紹介ページ」とすること。

### 3 デジタルマーケティング

若者・女性をはじめとする漁業就業の可能性のあるターゲット層に効率的にアプローチし、漁業就業支援センターの認知度向上を図るとともに、漁業就業フェアの集客に向けたデジタルマーケティングを以下の（１）及び（２）のとおり実施する。

#### （１）センターWEB サイト

センターへの就業相談件数の増加を目的とし、漁業就業の可能性のある若者・女性の興味を引きつける内容でセンターの存在を認知してもらうため、センターWEB サイトに漁業就業に関する特集記事を掲載するとともに、デジタルマーケティングによりセンターWEB サイトへの誘導を行う。

なお、センターWEB サイトの改修及び記事掲載については、別に委託する事業者が行うこととし、当項目では記事の作成について定める。

#### ア 記事作成

（ア）センターWEB サイトに掲載する記事の内容については、新規就業者へのインタビューや若者・女性活躍に関するもの、就業フェア等に関するものを想定し、センターと協議のうえ決定すること。

（イ）記事の掲載は計 10 回以上とする。

（ウ）取材はインタビューの他、写真や動画の撮影を行い、記事に盛り込むこと。また、撮影した写真や動画の電子データは、センターWEB サイトの改修等に利用するため、委託者に提供すること。

（エ）取材対象者との取材日程や内容に関する調整、取材、記事作成は受託者が行うこと。

（オ）記事が完成したら、掲載前に速やかにセンターに報告するとともに、取材対象者への確認を行うこと。

#### イ 情報発信

センターWEB サイトへ漁業就業の可能性のある者を誘導するための情報発信は、本仕様書 3 の 3 の（２）のとおり実施すること。

#### （２）WEB サイト以外の情報発信

本仕様書第3の2の（1）及び（2）への集客目標の達成及びセンターの認知度を向上させるため、漁業就業希望者及び、その候補となる者の本県漁業への就業意欲を喚起する Google ディスプレイ広告やYouTube、Instagram 等の SNS 広告で効果的な情報発信を行うこと。

なお、ターゲット像と検索条件の設定にあたっては、次のア～ウを参考とし、センターと協議のうえ決定する。

#### ア 対象イベント等

- （ア）本仕様書第3の2の（1）への集客 （目標：来場者 70 名以上）
- （イ）本仕様書第3の2の（2）への集客 （目標：漁業就業目的の来場者 40 名以上）
- （ウ）センターWEB サイトへの誘導

#### イ 広告素材

- （ア）漁業就業の可能性がある者に視聴されやすいWEB 広告を実施すること。
- （イ）WEB 広告には、下表のペルソナ（ターゲットとなる架空の人物像）をもとに、視聴者の興味を引く動画や画像の広告素材を作成すること。
- （ウ）広告素材に使用する動画や写真の撮影、撮影に係る日程調整等については、受託者が行うこと。
- （エ）広告素材が完成したら、使用する前に速やかにセンターに報告するとともに、撮影対象者への内容の確認を行うこと。

表 ペルソナ一覧

	ペルソナ1 (雇用型漁業／若者)	ペルソナ2 (雇用型漁業／若者)	ペルソナ3 (自営型漁業／中堅)
年齢	20 代前半	20 代後半～30 代前半	20～40 代
性別	女性	女性	男性
居住地	兵庫県淡路島	大阪府大阪市	神奈川県横浜市
職業	大学・専門学校生	会社員	会社員（システムエンジニア）
状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 動植物関係の専門学校生</li> <li>✓ 水族館への就職に興味あり</li> <li>✓ 漁師という仕事はいまのころイメージにはない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 趣味：バイク、車、サーフィン</li> <li>✓ ひとりが落ち着く</li> <li>✓ 田舎暮らしに憧れ</li> <li>✓ 趣味移住</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 趣味：釣り</li> <li>✓ ハードワークで残業が多い</li> <li>✓ 田舎暮らしに興味あり</li> <li>✓ 脱サラして漁師になりたい</li> <li>✓ 漁業就業のための準備金あり</li> </ul>
希望条件	✓ 収入よりワークライフバランス重視	✓ ひとりで生活ができる位の収入があれば理想	✓ ひとりで生活ができる位の収入があれば理想
よく利用 する SNS	LINE、Instagram、TikTok、X、 YouTube	LINE、Instagram、X、YouTube	LINE、Instagram、YouTube、 Facebook

#### ウ 広告媒体

- (ア) 漁業就業の可能性がある未認知層から顕在層までの各段階のターゲット層に訴求する効果的な媒体について提案すること。
- (イ) 媒体ごとの検索条件（年齢や性別、地域、興味等）については、ペルソナを参考に提案し、センターと協議のうえ決定すること。
- (ウ) ペルソナ1の広告エリアについては、動植物関連や釣り等、漁業就業希望者の増加に効果的と思われる高等学校や専門学校、大学等に設定するジオターゲティングを行うこと。  
なお、ペルソナ2、3についてのジオターゲティングは想定していない。
- (エ) 本仕様書第3の2の（1）及び（2）のフェアへの誘客に関するデジタルマーケティングの広告期間は、フェア開催の1か月以上前から実施すること。

#### エ 成果報告

- (ア) 広告期間の終了後、デジタルマーケティングのオンラインレポートを速やかに作成・提出すること。
- (イ) (ア) については、結果報告会を開催して分析結果について報告すること。

### 4 水族館と連携したイベントの開催

来館者や水族館での就業を志望している学生に対して、高知県の漁業への興味を喚起し、本仕様書第3の2の（1）、（2）及び（3）への誘導やセンターの認知度向上を目的とするイベントを水族館（むろと廃校水族館を想定）において以下のとおり開催すること。

- （1）イベントに関して必要な水族館側との調整は、受託者が行うこと。
- （2）センターの認知度向上及びセンターが関係する就業フェア等の告知ができる構成とすること。
- （3）開催時期やイベントの内容は、水族館側の意向を踏まえ、センターとの協議のうえで決定し、必要な物品は受託者が調達すること。

### 第4 実施体制

本事業が円滑に実施できる人員・体制を確保し、責任者を明確にすること。

### 第5 委託期間

委託契約締結の日から令和8年3月15日までとする。

### 第6 業務計画書

本業務の受託後1週間以内に、体制図及び業務ごとのスケジュールを記載した業務計画書を提出し、内容について受託者に説明すること。

### 第7 業務進捗の月例報告

受託者は、毎月の業務の進捗状況等を翌月の原則5日までにセンターへ報告すること。

## 第8 業務実績報告

受託者は、本業務が終了したとき、次の内容を含む業務完了報告書を作成し、センターに提出しなければならない。提出物は紙媒体1部及びデータとする。データはメディア（CD 又は DVD）に記録し、各ファイルには内容の分かるファイル名を付与すること。また、ファイル提出前にはウィルスチェックを行うこと。

### 1 全体業務について

- (1) 委託業務の実施期間
- (2) 実施した業務の一覧

### 2 漁業就業セミナー

- (1) 関西の専門学校等での漁業就業セミナーの開催
  - ア セミナーに係る内容を整理したもの
  - イ セミナー参加者のアンケート結果をとりまとめて一覧に整理したもの
  - ウ セミナーの記録写真を整理したもの
  - エ 次年度に向けた課題
- (2) 児童養護施設入所者を対象とした漁業就業セミナーの開催
  - ア セミナーに係る内容を整理したもの
  - イ セミナー参加者のアンケート結果をとりまとめて一覧に整理したもの
  - ウ セミナーの記録写真を整理したもの
  - エ 次年度に向けた課題

### 3 漁業就業フェアとその関連業務

- (1) 関西での漁業就業フェアの開催
  - ア フェアの開催内容を整理したもの
  - イ 出展事業者及び来場者の情報を整理し、一覧にしたもの
  - ウ 就業相談の記録写真を整理したもの
  - エ 出展事業者及び来場者のアンケート結果をとりまとめて一覧に整理したもの
  - オ フェアの就業相談や集客結果を分析し、次年度への課題を含めて書面（任意様式）に整理したもの

※フェア開催日から30日以内にセンターに提出すること
- (2) 県内での一次産業就業フェア出展に係る業務
  - ア 実施業務の内容を整理したもの
  - イ 出展事業者の情報を整理し、一覧にしたもの
  - ウ 就業相談の記録写真を整理したもの
  - エ フェアの就業相談や集客結果を分析し、次年度への課題を含めて書面（任意様式）に整理したもの

※フェア開催日から30日以内にセンターに提出すること

- (3) 関西での一次産業就業フェア出展に係る業務
  - ア 実施業務の内容を整理したもの
  - イ 就業相談の記録写真を整理したもの
- (4) 県内事業者の SNS 情報発信スキルアップ研修の開催
  - ア 研修会の内容を整理したもの
  - イ 参加事業者の情報を整理し、一覧にしたもの
  - ウ 研修会の記録写真を整理したもの
  - エ 参加経営体のアンケート結果をとりまとめて一覧に整理したもの
  - オ 結果等を分析、整理したもの
  - カ 次年度に向けた課題
- (5) WEB ページの制作・発信
  - ア 制作した WEB ページの内容・構成が分かるもの
  - イ WEB ページの閲覧数を日別及び月別に整理したもの
  - ウ 受託者が制作したフェア特設 WEB ページ用に作成した画像、動画の電子データ
  - エ 次年度に向けた課題

#### 4 デジタルマーケティング

- (1) 取材内容を特集記事にまとめたもの
- (2) センターWEB サイト及び情報発信用に作成した画像、動画の電子データ
- (3) WEB 広告媒体ごとの表示回数、表示単価、検索ワード等の広告結果を整理したもの
- (4) デジタルマーケティングの効果について分析結果を整理したもの
- (5) 次年度に向けた課題

#### 5 水族館と連携したイベントの開催

- (1) 開催内容を整理したもの
- (2) 開催状況の記録写真を整理したもの
- (3) 開催期間中の来場者数と開催前後の来場者数を比較し、水族館側の感想をまとめたもの
- (4) 次年度に向けた課題

#### 6 その他

本業務において制作した広報物等を各 1 部

#### 第9 その他の留意事項

- 1 本業務の実施にあたっては、第 1 に掲げる事業の主旨に沿い、より効果的な方法を選択して誠実に実施すること。
- 2 本業務により得られた成果物及びその著作権は原則としてセンターに帰属することとし、その成果物は他者の所有権や著作権を侵害しないことを保証すること。

- 3 本業務で取り扱う氏名、住所等の個人情報の取扱いについては、個人情報の保護等に関する法律等に基づき適正に行うこと。
- 4 本業務にかかる費用は、すべて受託者が負担すること。
- 5 本仕様書により難い事情が発生した場合には、センターと受託者が協議を行い、本業務の主旨に沿った効果的な業務となるよう事業費を充当することとする。
- 6 その他、本仕様書に定めのない事項については、センターと受託者が協議して定めるものとする。